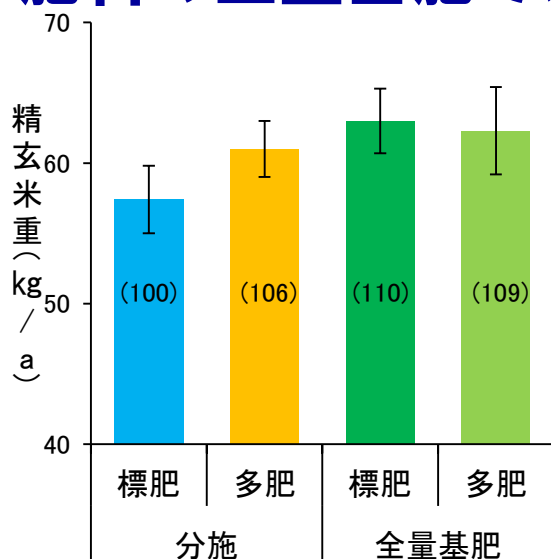


熊本県で開発した新技術

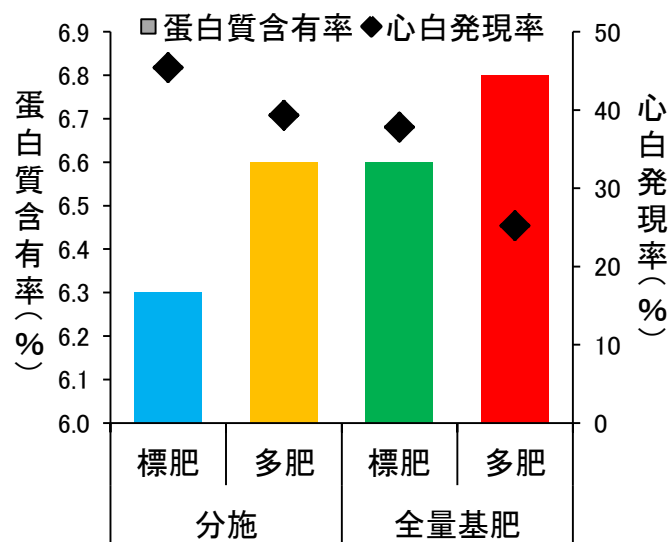
熊本県農業研究センター

2018

酒米「華錦」は平坦地で普通期に被覆尿素肥料の全量基肥で栽培すれば増収する



全量基肥は施肥量に係わらず増収



全量基肥は多肥で品質低下

問 研究のねらいは？

答 酒米「華錦」は倒伏に強く、品質・収量性・醸造適性に優れることから、酒造関係者から平坦地での作付拡大と生産量の確保が求められています。そこで、平坦地において品質を損なわず、増収する省力生産技術を開発しました。

問 優れている点は？

答 被覆尿素肥料による全量基肥施肥は、省力的であり、次のような特長があります。

- ① 収量が明らかに増加します。
- ② 蛋白質含有率は7.0%以下を維持できます。
- ③ 検査等級は2等以上を確保できます。
- ④ 穂肥等の追肥が省略でき、省力的です。

問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 全量基肥でも多肥栽培すると、倒伏し易くなったり、品質が低下します。
 - ② 主食用米同様の疎植栽培は収量の低下につながります。